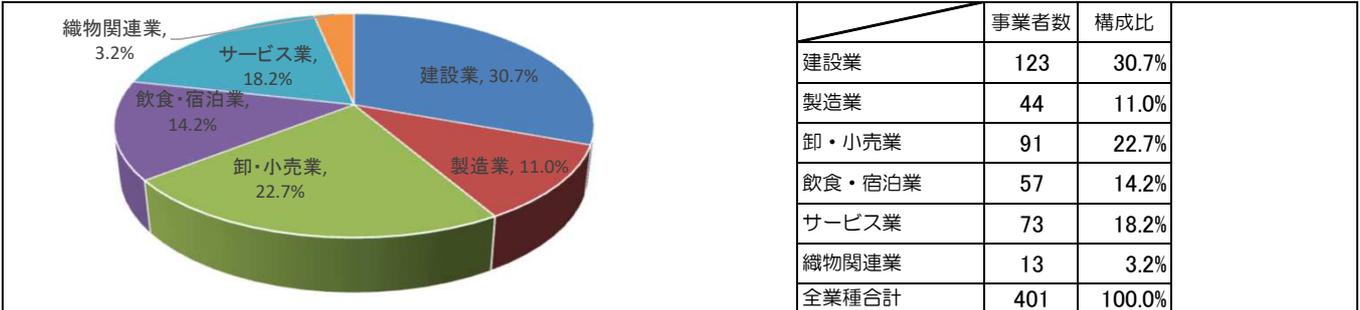


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R3.4.1~R3.6.30) 会議所地区

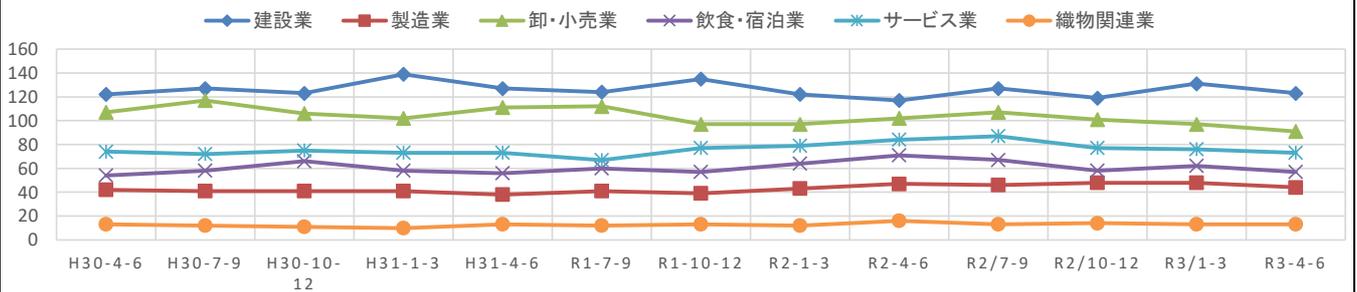
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



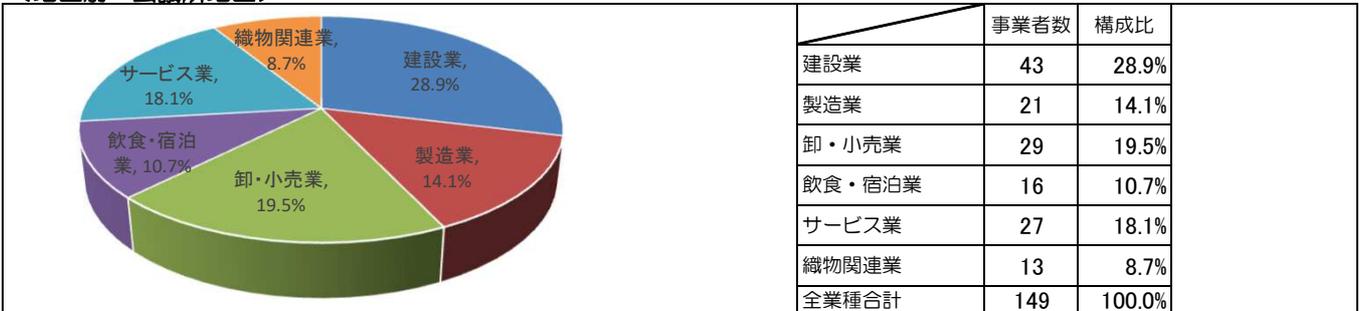
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



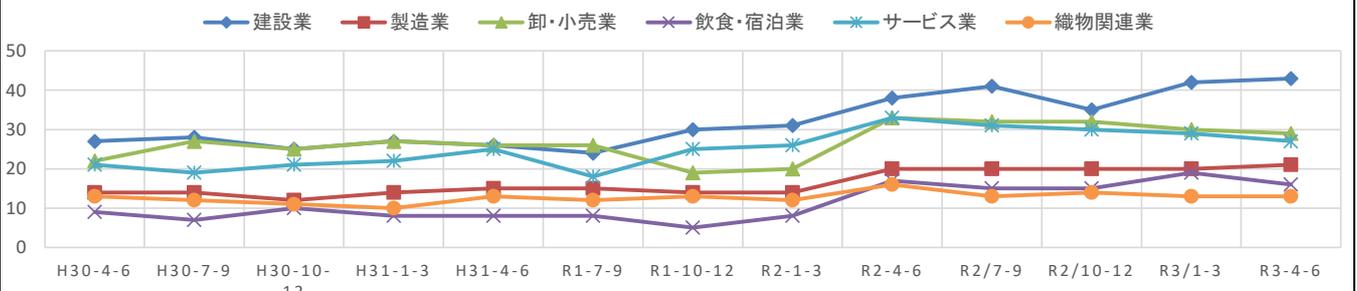
<コメント>

今回の調査は、十日町市内401事業所から回答を得られたが、前回調査よりも26事業者減少している。建設業と製造業において減少があったものの、回答割合については大きな差はないものとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

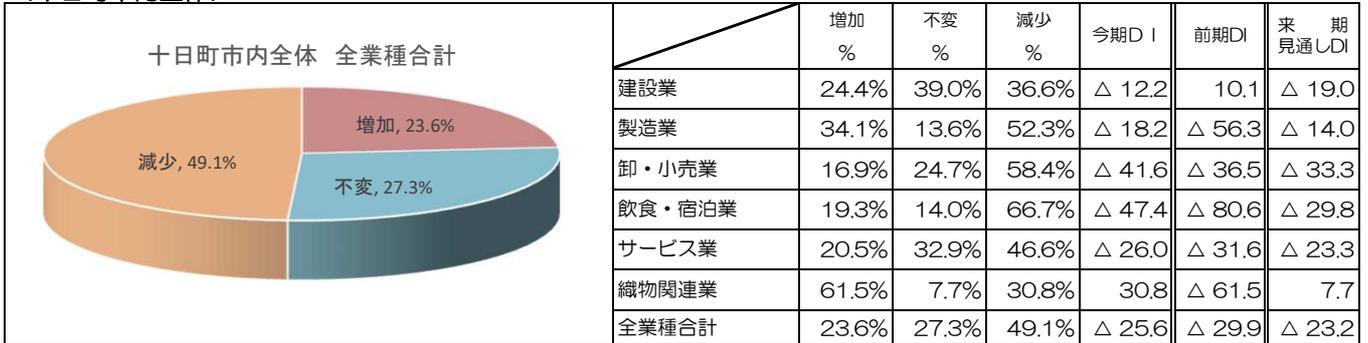
会議所地区の今回の調査回答状況は、配布194事業所のうち149事業所からの回答があり、回収率は76.8%であった。(前回：回答事業所153事業所、回収率78.9%)

DI 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

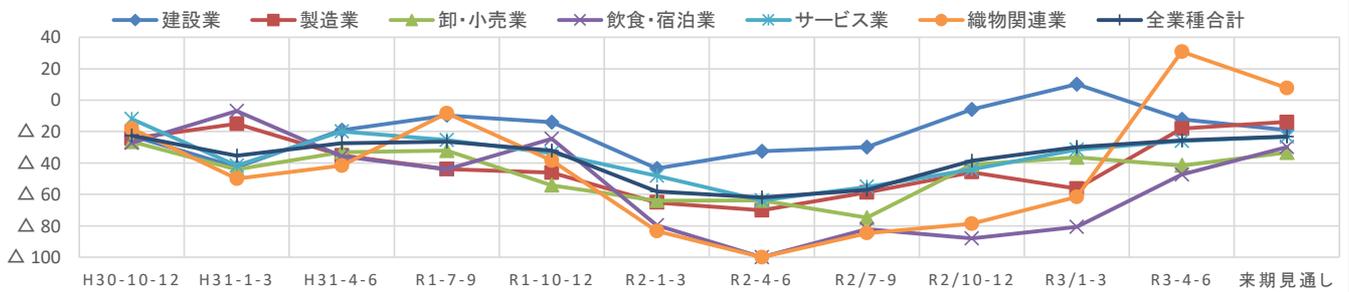
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

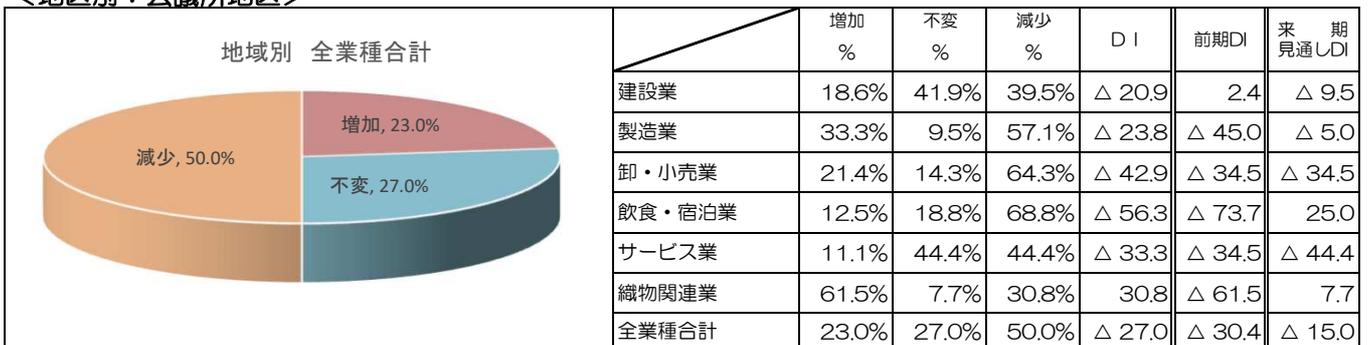


業種別売上の推移（市内全体）

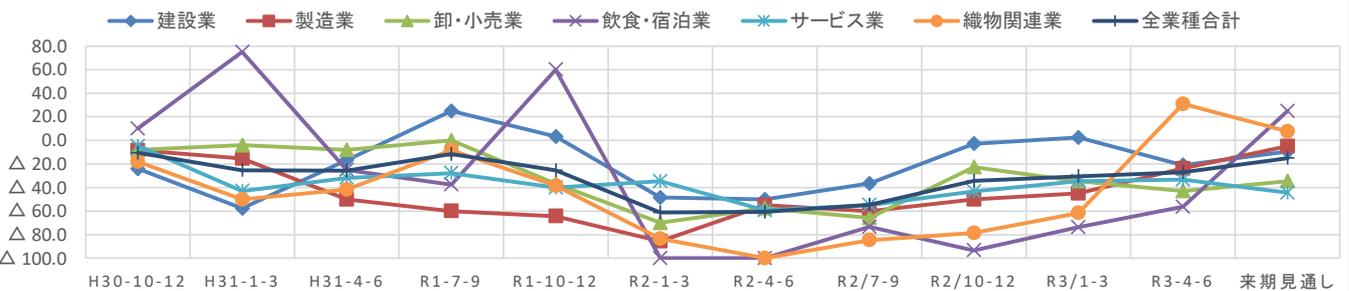


<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△25.6ポイントで、前回調査時よりも4.3ポイント上昇となっている。建設業と卸・小売業以外の業種にて上昇しており、全体の値を引き上げている。来期見通しでは建設業と製造業は低下予測であるが、その他の業種では上昇予測となり、全業種DI値においても上昇する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

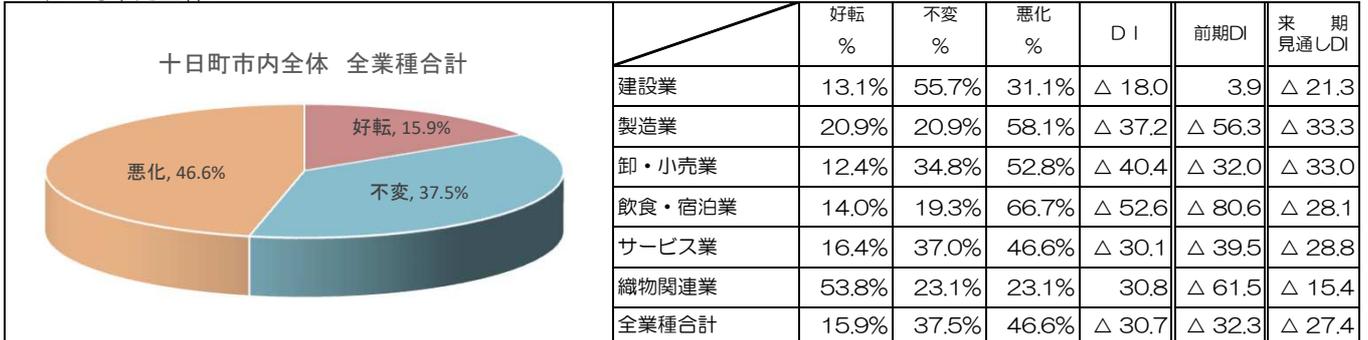


<コメント> 会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△27.0ポイントで、前回調査時よりも3.4ポイント増加となっている。業種別に見ると、建設業（前期比△23.3ポイント）と卸・小売業（△8.4ポイント）が悪化した。その他の業種は好転しており、織物関連業は前期比92.3ポイント増と大きく上昇しているが、前々年のコロナ前の水準にはいまだに戻っていない。来期見通しではサービス業と織物関連業で減少予測されているが、その他の業種は増加予測となっている。

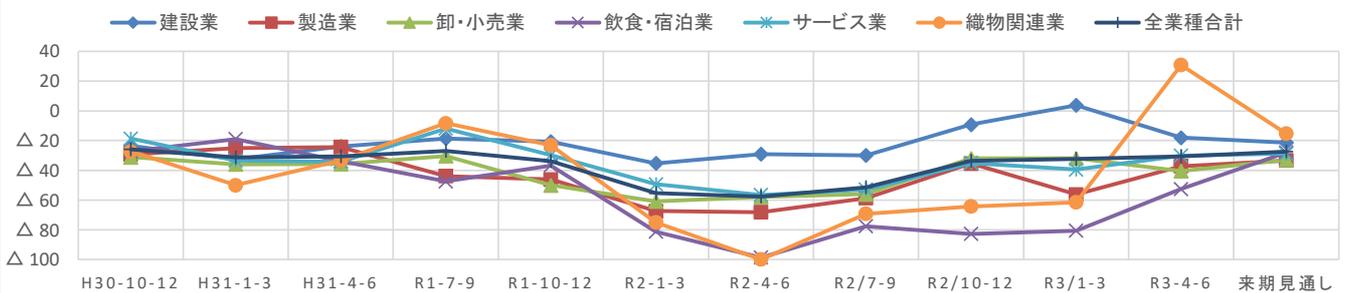
## 2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>

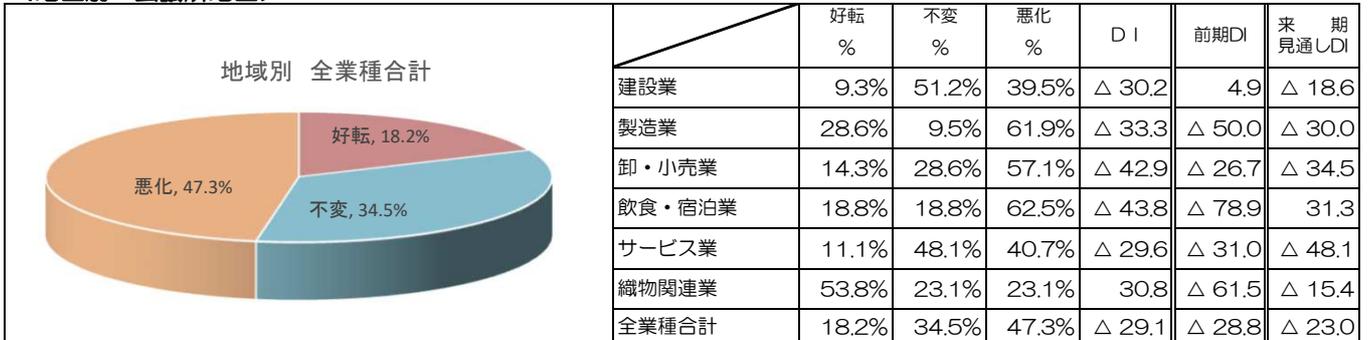


### 業種別採算の推移(市内全体)

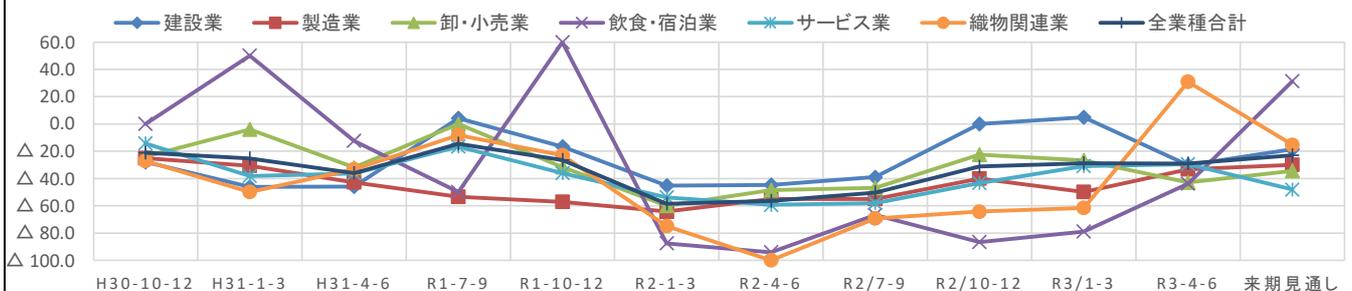


<コメント> 十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△30.7ポイントで、前回調査より1.6ポイント好転している。建設業と卸・小売業の悪化が大きいが、その他の業種で好転したことが要因となる。来期見通しでは、建設業と製造業にて悪化予測されているが、その他の業種では好転予測であり、全業種DI値においても好転見通しとなる。

### <地区別：会議所地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



<コメント> 会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△29.1ポイントで、前回調査時よりも0.3ポイント悪化している。業種別に見ると、建設業（前期比△35.1ポイント）と卸・小売業（△16.2ポイント）が悪化した。その他の業種は好転しており、売上状況と同様の結果となっている。来期見通しではサービス業と織物関連業で悪化予測されているが、その他の業種は好転予測となっている。

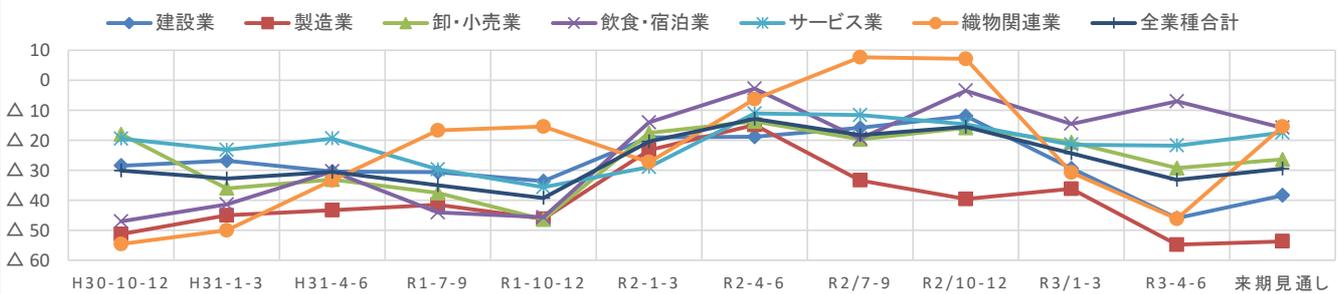
### 3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>

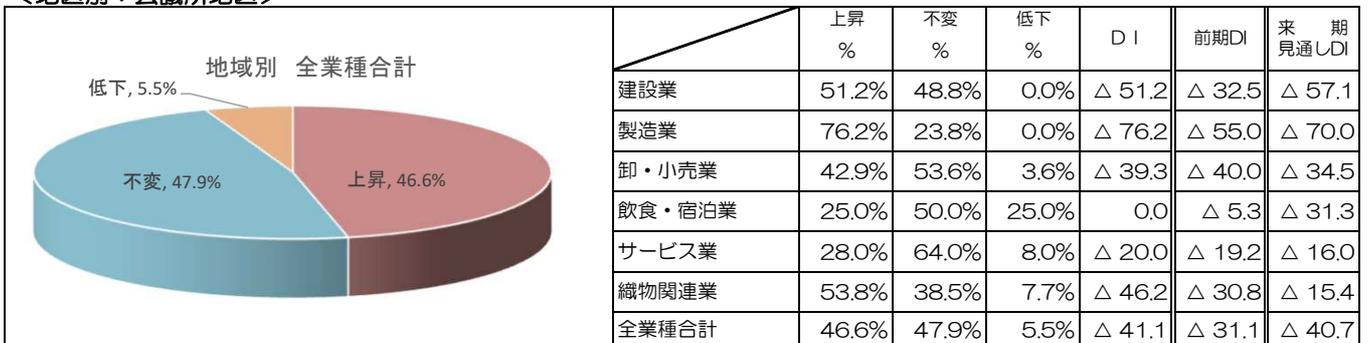


#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)

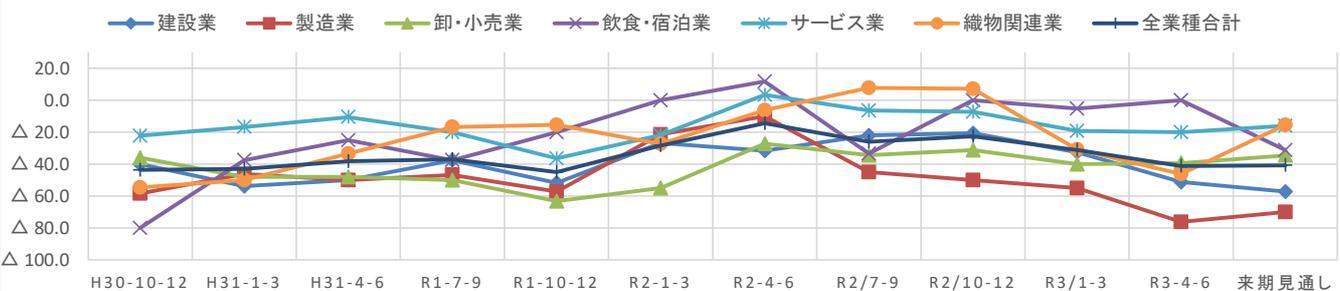


<コメント> 十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△33.2ポイントで、前回調査時よりも8.8ポイント低下している。飲食・宿泊業以外の業種において低下しているが、全業種合計において不変回答が半数以上を占めていることから大きな変動はないものと推測したい。来期見通しとしては、今期よりも全業種DI値が上昇する見通しとなっている。

#### <地区別：会議所地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)

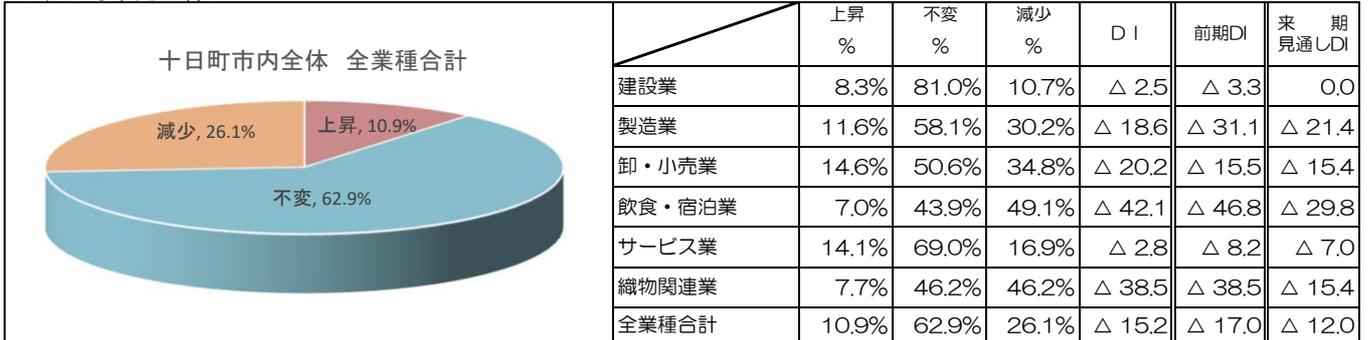


<コメント> 会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△41.1ポイントで、前回調査時よりも10.0ポイント減少（仕入単価上昇）している。業種別に見ると、卸・小売業は横ばい、飲食・宿泊業は単価低下、その他の業種は単価上昇が見られた。来期見通しにおいては、建設業と飲食・宿泊業で単価上昇予測されているが、その他の業種では低下予測となっている。

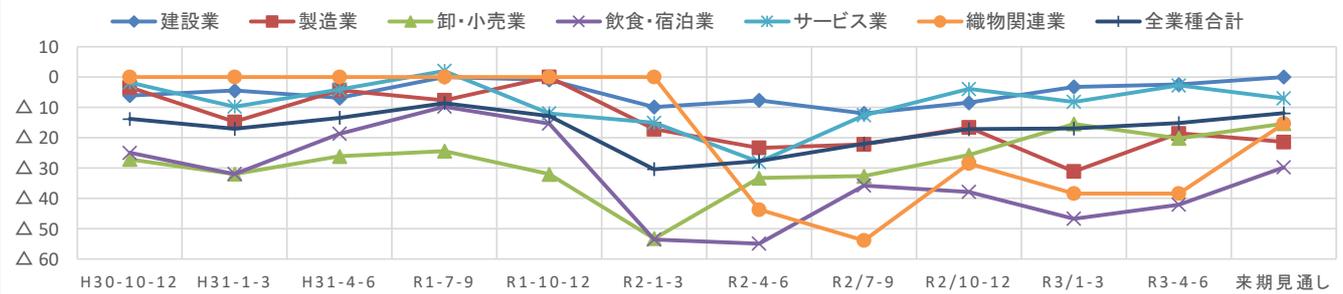
#### 4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <十日町市内全体>

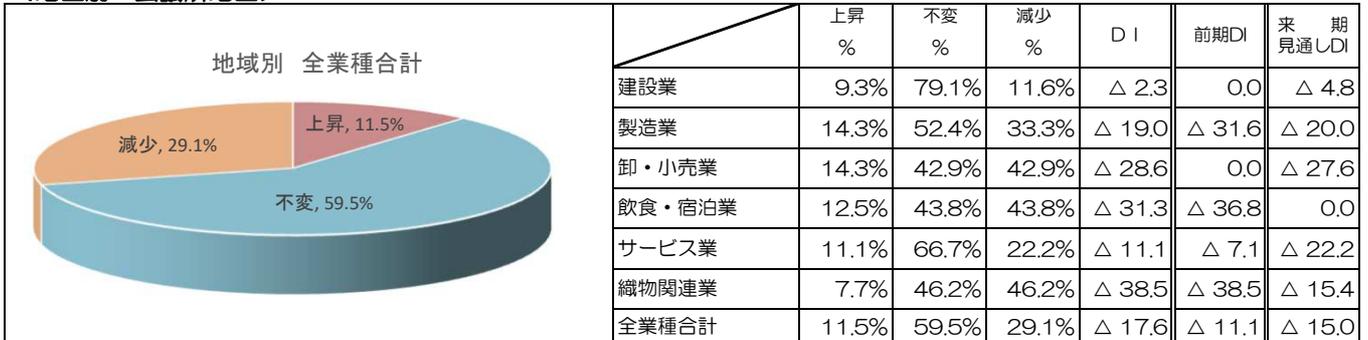


#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

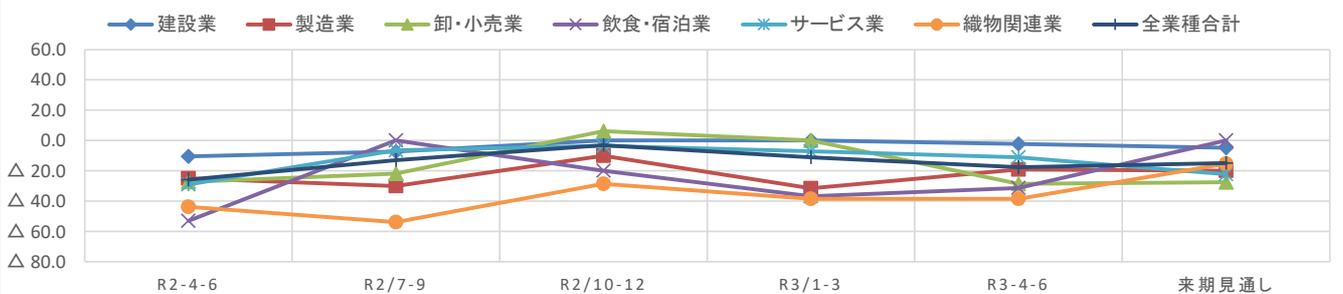


<コメント> 十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△15.2ポイントで、前回調査時より1.8ポイント上昇している。卸・小売業において低下が見られるものの、その他の業種においては上昇している。来期に関しては、サービス業が低下予測であるが、その他の業種は上昇予測であり、全業種DI値も好転する見通しとなっている。

##### <地区別：会議所地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）

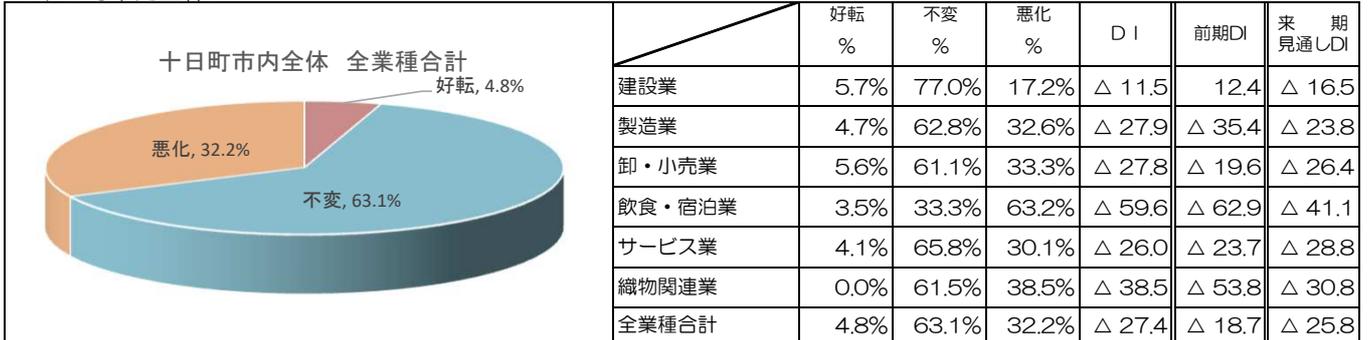


<コメント> 会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が△17.6ポイント（前期比△6.5ポイント）であった。業種別に見ると、織物関連業は前回から横ばい、建設業、卸・小売業、サービス業で単価の低下が見られ、製造業と飲食・宿泊業で単価の上昇が見られた。来期見通しにおいては、卸・小売業、飲食・宿泊業、織物関連業で単価上昇予測されている。 ※会議所地区では、R2.4-6月期から販売（客）単価の状況について項目を設けた。

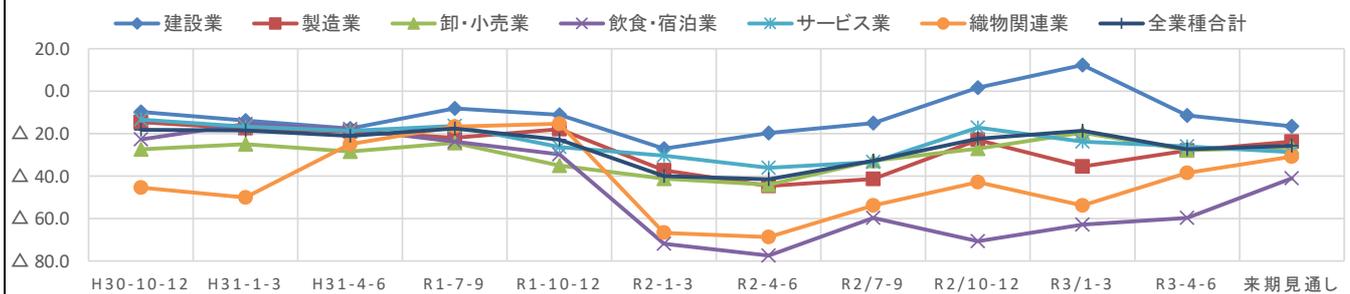
## 5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>

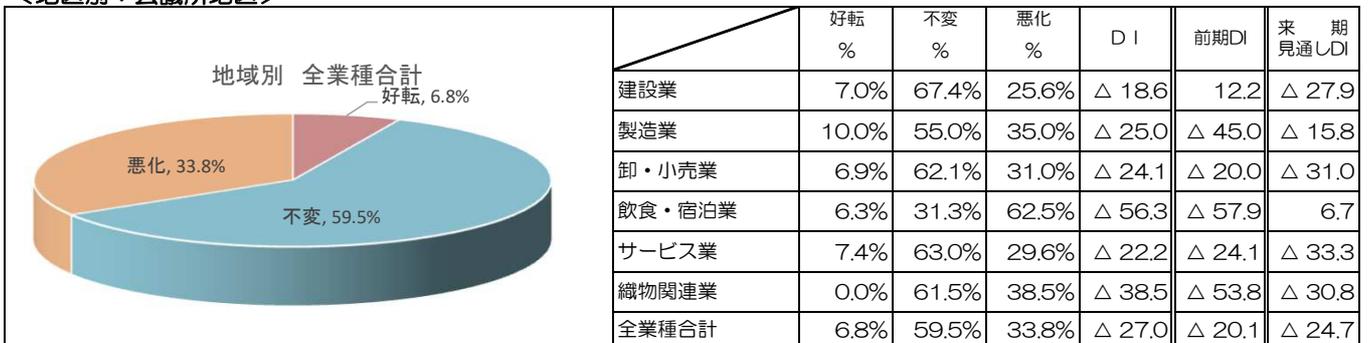


### 業種別資金繰りの推移(市内全体)

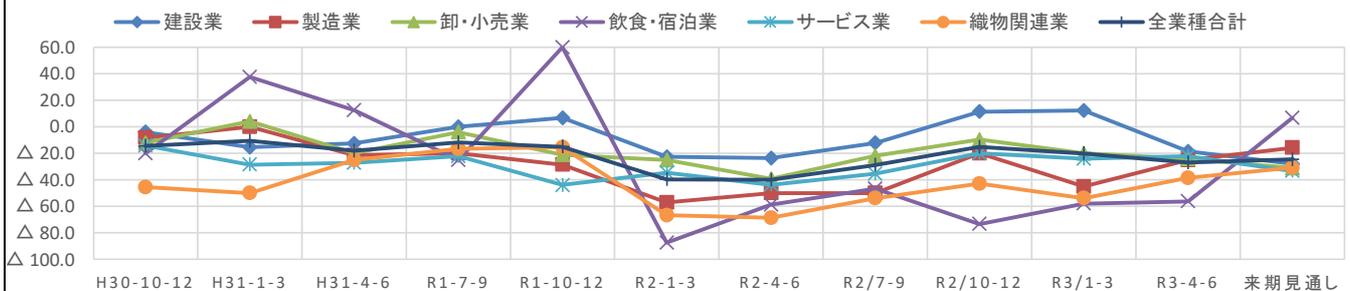


<コメント> 十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△27.4ポイントで、前回調査時より8.7ポイント悪化している。建設業と卸・小売業、サービス業が悪化しているが、その他の業種では好転している。来期見通しとしては、建設業とサービス業で悪化予測となるが、その他の業種では好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しとなる。

### <地区別：会議所地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)

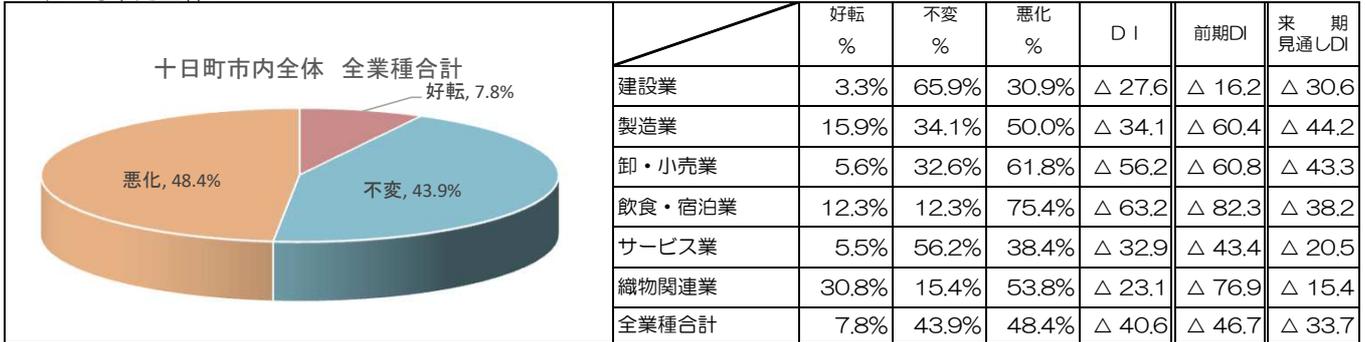


<コメント> 会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△27.0ポイントで、前回調査時よりも6.9ポイント悪化している。業種別に見ると、建設業が△18.6ポイント（前期比30.8ポイント減）、卸・小売業が△24.1ポイント（前期比4.1ポイント減）と悪化しているが、その他の業種は好転している。来期見通しにおいては、建設業と卸・小売業、サービス業で悪化予測、その他の業種では好転予測されている。

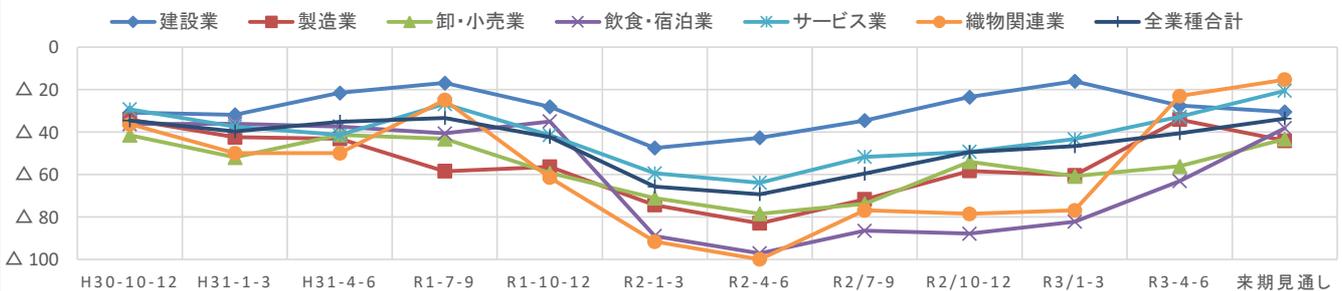
6. 景況判断について

・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

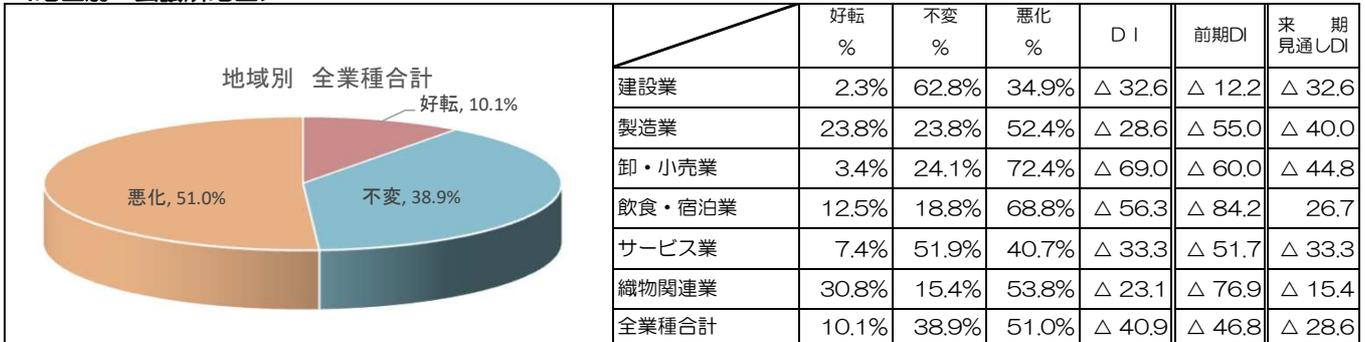


業種別景況判断の推移(市内全体)

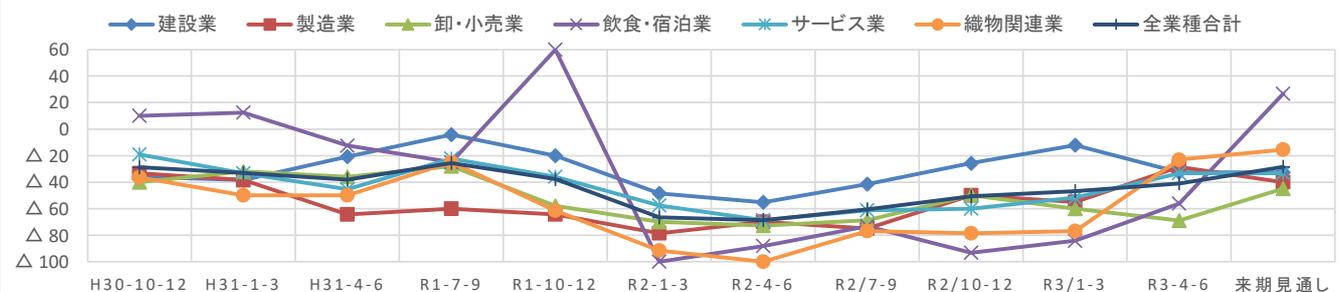


<コメント> 十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△40.6ポイントで、前回調査時よりも6.1ポイント好転している。建設業の数値悪化は、ウッドショックの影響があると推測するが、その他の業種は好転を示している。来期見通しは、建設業と製造業が悪化予測となるが、その他の業種は好転予測であり、全業種DI値についても好転する見通しである。今後の動向に注視したい。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

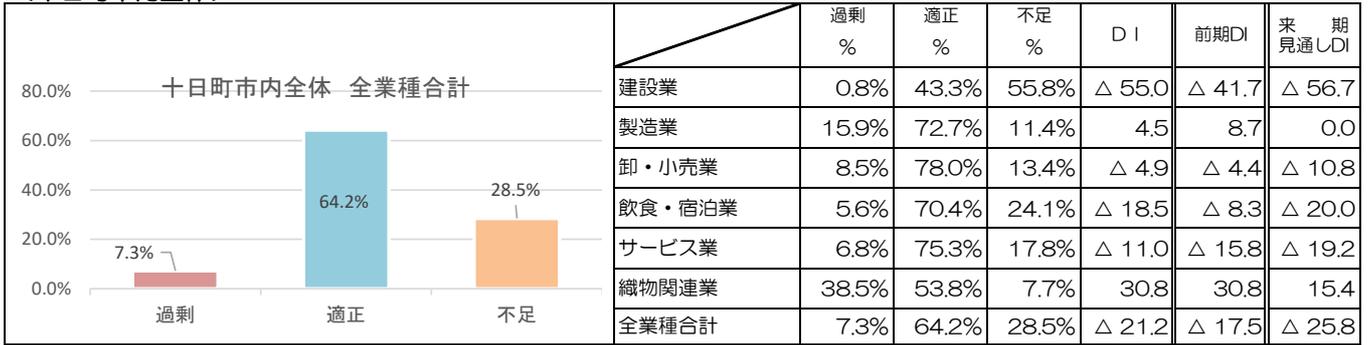


<コメント> 会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△40.9ポイント（前期比5.9ポイント増）と好転した。業種別に見ると、建設業（前期比△20.4ポイント）と卸・小売業（前期比△9.0ポイント）で悪化した。その他の業種では改善している。来期見通しにおいては、製造業が悪化予測、建設業とサービス業で横ばい、その他の業種は好転予測されている。

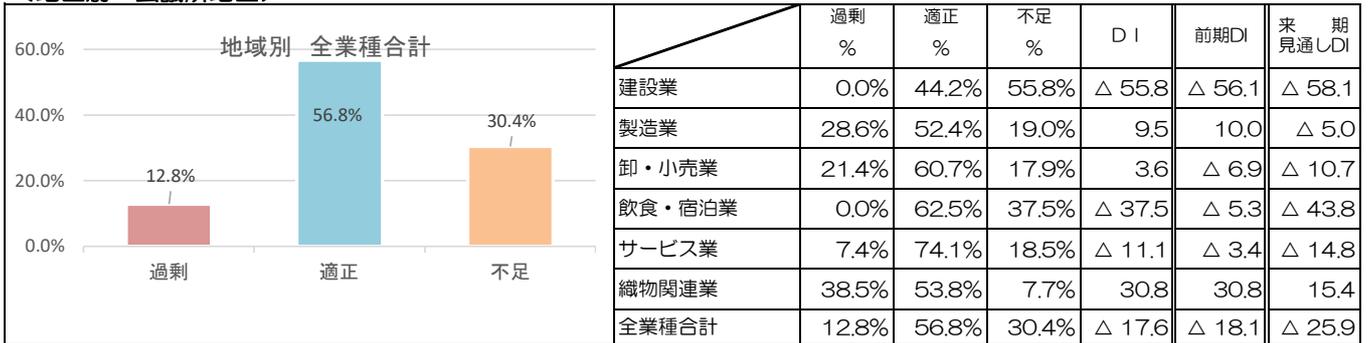
7. 従業員数について

・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：会議所地区>

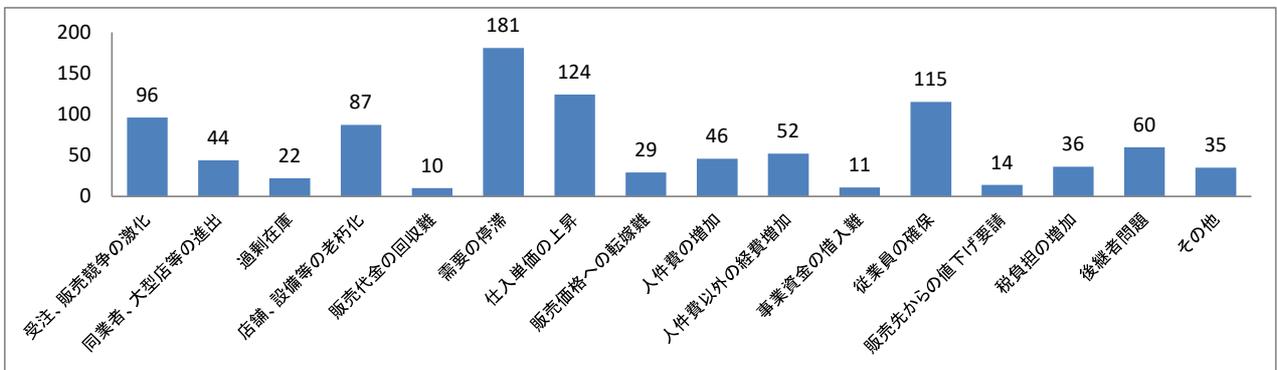


<コメント>

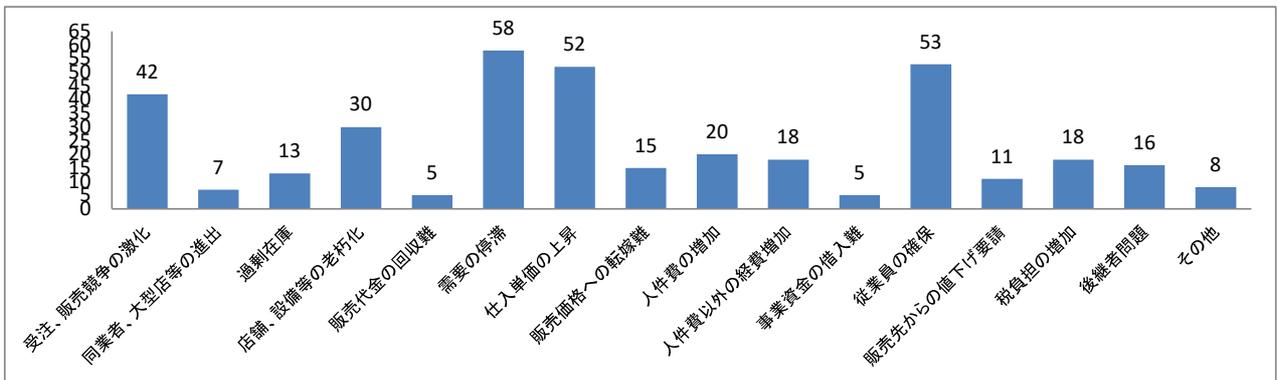
今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.0%、不足回答が4.7%前回調査時よりも増加している。  
 会議所地区の状況は、全業種合計においては適正回答が一番多いものの、建設業の55%が不足と回答している。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位の「需要の停滞」は変わらなかったが、2位から5位の項目は、「仕入単価の上昇」が急激に増え2位となり、その他の項目は前回調査時から順位を1つ下げた。  
 会議所地区の経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「従業員の確保」3位が「仕入単価の上昇」となっている。「仕入単価」の上昇と回答した事業所が前回から大きく増加している。

## 9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

### 【建設業】

今期の建設業の状況は、売上、採算、資金繰りが悪化している。前期に大雪の影響で好転していた反動だと推測できる。来期見通しにおいては、売上と採算は好転予測されているが、資金繰りは悪化予測となっている。経営上の問題点では、「従業員の確保」が一番多く回答されており、55%の事業所が従業員不足としている。

### 【製造業】

今期の製造業の状況は、売上、採算、資金繰りが好転している。来期見通しにおいても、今期の状況と同様に好転予測されており、結果に期待したい。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」が一番多く回答されている。

### 【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、売上、採算、資金繰りが悪化している。来期見通しにおいては、売上と採算は好転予測されているが、資金繰りは悪化予測となっている。経営上の問題点では、「需要の停滞」、「店舗、設備等の老朽化」が多く回答されている。また、今後プレミアム商品券事業へ期待する声が多く聞かれる。

### 【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、売上、採算、資金繰りが好転している。来期見通しにおいても、今期の状況と同様に好転予測されており、プレミアム商品券事業による消費喚起や、ワクチン接種が進むことによる行動制限の緩和に期待したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。

### 【サービス業】

今期のサービス業の状況は、売上、採算、資金繰りでほぼ横ばいとなっている。来期見通しにおいては、売上、採算、資金繰りで悪化予測されている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。

### 【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、売上と採算が好転しており、資金繰りも好転している。これは前年対比での状況であり、昨年の落ち込みの反動と考えられる。来期見通しにおいては、売上と採算が悪化予測、資金繰りが好転予測となっている。経営上の問題点では、「受注、販売競争の激化」、「需要の停滞」が多く回答されている。